

農業農村整備事業等事後評価地区別結果書

局 名	九州農政局
-----	-------

都道府県名	大分県	関係市町村名	豊後高田市、杵築市（旧西国東郡大田村）
事業名	田園整備事業	地区名	西高
事業主体名	大分県	事業完了年度	平成19年度

〔事業内容〕

事業目的：本地区は、大分県の国東半島の西部に位置し、中世・宇佐八幡宮の荘園として水田の開発がなされ、宇佐八幡宮のもとで、山岳仏教文化が荘園の人々の暮らしに深くかかわっており、至るところに神社、仏閣が建設されている。そのため、本地区は田園空間のみならず農業や農民の暮らしと深く結びついた神社仏閣、行事、祭りも多く残されている。また、これらの信仰文化を支えた農業農村資源も数多く残っている。

このため、これらの地域が有する生産的・文化的・歴史的資源を再評価し、美しい農村景観等の保全、復元に配慮した各種基盤整備及び緑豊かな田園空間にふさわしい地域の活性化施設を整備することにより、魅力ある田園空間に資する。

受益面積：32ha

受益者数：105人

主要工事：区画整理8ha、用水路9.8km、農道4.9km、農業集落道路0.4km、集落緑化施設6,640㎡、農村公園緑地整備0.5ha、コミュニティ施設1箇所、景観施設整備1式、歩行者専用遊歩道1.8km

総事業費：1,280百万円

工期：平成13年度～平成19年度（計画変更：平成16年度）

〔項目〕

1 社会経済情勢の変化

（1）社会情勢の変化

本地域の総人口について、平成12年と平成22年を比較すると7.5%減少している。また、総世帯数は平成12年と平成22年を比較すると4.7%増加している。

【人口、世帯数】

区分	平成12年	平成22年	増減率
総人口	20,412人	18,891人	△ 7.5%
総世帯数	7,378戸	7,728戸	4.7%

（出典：国勢調査）

産業別就業人口については、第1次産業の割合が平成12年の20.1%から平成22年の15.4%に低下しているが、大分県全体の第1次産業の就業者割合7.5%に比べて高くなっている。

【産業別就業人口】

区分	平成12年		平成22年	
	人数	割合	人数	割合
第1次産業	1,956人	20.1%	1,287人	15.4%
第2次産業	2,737人	28.1%	2,364人	28.3%
第3次産業	5,026人	51.8%	4,715人	56.3%

（出典：国勢調査）

(2) 地域農業の動向

平成12年と平成22年を比較すると、耕地面積については4.2%減少、農家戸数は14.3%減少、農業就業人口は24.2%減少している。また、戸当たり経営面積は増加しているものの、認定農業者数は26.3%減少している。

区分	平成12年	平成22年	増減率
耕地面積	2,651ha	2,540ha	△ 4.2%
農家戸数	2,251戸	1,928戸	△14.3%
農業就業人口	7,633人	5,787人	△24.2%
うち65歳以上	2,105人	1,758人	△16.5%
戸当たり経営面積	1.18ha/戸	1.32ha/戸	11.2%
認定農業者数	206人	151人	△26.3%

(出典：農林水産統計年報、農林業センサス、認定農業者数は大分県調べ)

2 事業により整備された施設の管理状況

事業により整備された農道及び農業用水路は、豊後高田市によって適切に維持管理されており、地区内の受益者が中山間地域等直接支払制度を活用し、地域共同活動により年数回の草刈りや泥あげ、舗装の補修等を行い、適切に維持管理されている。

3 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化

(1) 農作物の生産量の変化

水稻については、作付けが減少する見通しで計画していたが、需給調整等の実施のほか、水管理が容易になったことから、作付が増加している。

また、小麦については、地域の振興作物として作付けの拡大が図られており、計画を上回っている。

【作付面積】 (単位：ha)

区分	事業計画（平成16年）		評価時点 (平成23年)
	現況	計画	
水稻	28	26	29
小麦	0	1	2

(出典：事業計画書、豊後高田市調べ)

【生産量】 (単位：t)

区分	事業計画（平成16年）		評価時点 (平成23年)
	現況	計画	
水稻	138	132	149
小麦	1	2	5

(出典：事業計画書、豊後高田市調べ)

【生産額】 (単位：百万円)

区分	事業計画（平成16年）		評価時点 (平成23年)
	現況	計画	
水稻	32	31	34
小麦	0	0	1

(出典：事業計画書、豊後高田市調べ)

(2) 営農経費の節減

ほ場の区画が整形され、用排水路や耕作道が効率的に配置されたことによって、農作業に係る労働時間は計画どおり節減されている。一方、機械経費は、物価上昇に伴い計画より高くなっているものの、事業実施前と比べると大きく節減されている。

【労働時間】 (単位：hr/ha)

区分	事業計画（平成16年）		評価時点
	現況	計画	（平成24年）
水稻	570	285	285
小麦	232	62	62

【機械経費】 (単位：千円/ha)

区分	事業計画（平成16年）		評価時点
	現況	計画	（平成24年）
水稻	742	320	354
小麦	379	210	233

(出典：事業計画書、豊後高田市調べ)

4 事業効果の発現状況

(1) 事業の目的に関する事項

① 農業生産性の向上

本事業の実施により、安定的な農業用水が確保されることから、本地区の主要作物である水稻の単収が増加しており、生産性の向上が図られている。

【単収】 (単位：kg/10a)

区分	事業計画時現況 （平成10年）	評価時点 （平成23年）
水稻	489	510

(出典：事業計画書、豊後高田市調べ)

(2) 土地改良長期計画における施策と目指す成果の確認

① 美しい農村環境の再生・創造

地域の合意形成のもと、地域の伝統、文化、景観等の保全・復元等により整備を実施したことにより、自然や環境と農業生産が調和したゆとりのある田園空間の創造が図られた。

(出典：豊後高田市、杵築市聞取り)

(3) 事業による波及的效果

本事業で整備された水田やコミュニティ施設の活用を通じて、「荘園の里推進委員会」が中心となって開催している御田植え祭り等のイベントの参加者数が年々増加するなど、都市と農村の交流が図られている。また、遊歩道は周辺の観光スポットや田園空間を散策できる人気のウォーキングコースとなっている。

当地区は、「11世紀の荘園遺跡に起源を持ち、14世紀前半から15世紀における耕地・村落の基本形態が現在にほぼ継承されている」ことが高く評価され、平成22年（2010年）には「田染荘小崎の農村景観」として国の重要文化的景観に選定された。

さらに、平成25年（2013年）には本地域を含む国東半島宇佐地域が世界農業遺産に認定されるなど、注目を集めている。

(出典：豊後高田市、杵築市聞取り)

※「荘園の里推進委員会」：都市と農村の交流及び荘園の里の整備等を目的に小崎地区の地元住民で構成された組織

(4) 事後評価時点における費用対効果分析の結果

妥当投資額 (B) 1,047百万円

総事業費 (C) 1,087百万円

投資効率 (B/C) 1.03

(注) 投資効率方式により算定。

5 事業実施による環境の変化

(1) 生活環境

用水施設の維持管理の一環として、地元水利組合や地元自治会が主体となり、地域住民とともに用水路周辺において、中世の田園空間の保全とともに、住民の植栽活動をとおして生活に潤いを与えている。

(2) 自然環境

本地区は、荘園遺跡に起源を持ち、14世紀前半から15世紀における耕地・村落の基本形態が現在にほぼ継承されていることや、生態系に配慮した水路、農道の施工や石積み水路を配置することで自然状態に近い形での水生生物等が保全されている。

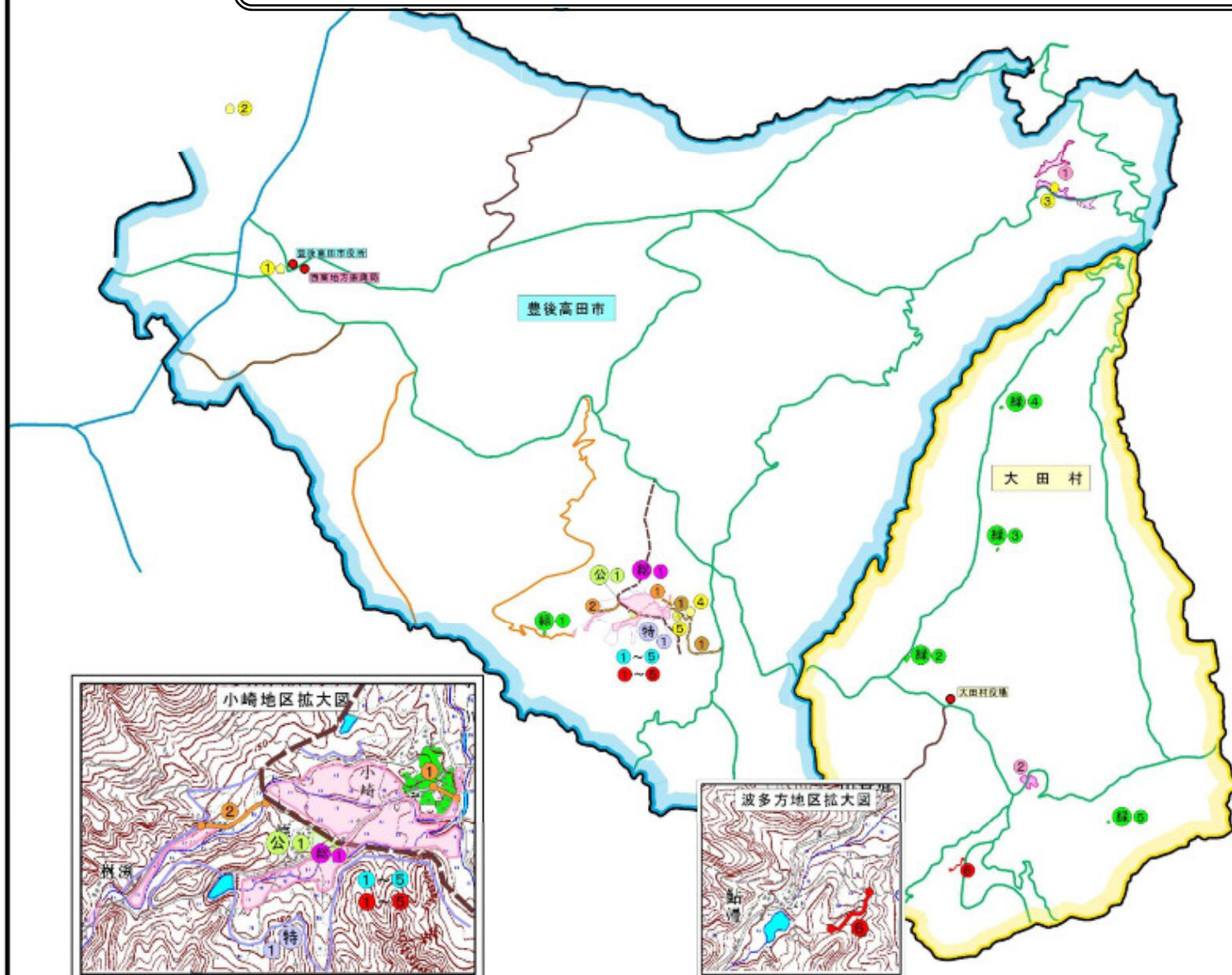
6 今後の課題等

美しい農村景観や歴史的農業施設の保全及びこれに係る住民活動を推進するため、「荘園の里推進委員会」を中心に活動されているが、農業従事者の高齢化や過疎化が進む中で、今後とも、コミュニティ施設を活用したイベントの開催や、農地の保全、遊歩道の維持管理をしていく必要がある。

事後評価結果	・ 本事業の実施により、美しい農村景観等の保全、復元に配慮した基盤整備と緑豊かな田園空間にふさわしい地域の活性化に資する施設の整備を実施することで、魅力ある田園空間づくりが図られた。 ・ 今後とも、コミュニティ施設を活用したイベントの開催や、農地の保全、遊歩道の維持管理活動を推進していく必要がある。
第三者の意見	・ 事業の実施により、ほ場の区画や用水路が整備され、農作業時間が節減されたこと、水稻の単収が増加し生産性が向上したこと、環境と農業生産が調和した田園空間づくりが進められたことなど、効果の発現がみられる。また、国の重要文化的景観や世界農業遺産に認定されるなどの波及効果も認められる。 ・ 今後とも、コミュニティ施設を活用したイベントの開催や農地の保全、遊歩道の維持管理が望まれる。

田園整備事業(田園空間整備事業)「西高地区」 事業概要図

位置図



凡 例	
国 道	
県 道	
農 道	
林 道	
市町村境	

田園空間博物館整備事業凡例			
工 種	番 号	工 区 名	事 業 量
	①	小崎1号(登山)	L=1,090m
	②	小崎2号(下山)	L=1,810m
	③	小崎3号(赤池)	L=2,520m
	④	小崎4号(谷田)	L=1,860m
	⑤	小崎5号(下山)	L=2,540m
	①	小崎1号(登山)	L= 760m
	②	小崎2号(下山)	L= 620m
	③	小崎3号(赤池)	L=1,150m
	④	小崎4号(谷田)	L= 790m
	⑤	小崎5号(下山)	L=1,030m
	①	波多方	L= 507m
	②	波多方	L= 507m
	①	波多方	A= 4.1ha
	②	波多方	A= 4.2ha
	①	小崎(下山)	L= 340m
	②	小崎(下山)	L= 440m
	①	空木	A= 300m2
	②	空木	A=1,670m2
	③	岸木	A= 420m2
	④	小崎	A= 750m2
	①	小崎	A=3,500m2
	②	小崎	A= 0.3ha
	①	小崎	A= 0.3ha
	②	小崎	A= 0.3ha
	①	小崎	L= 502m
	②	小崎	L= 502m
	①	小崎	L=5,000m
	②	小崎	L=5,000m